

働き方改革で何が変わるの？～改正の背景及び重要ポイント～

大阪商工会議所女性会の会員である、坂東嘉子労務コンサルタント様による女性会初の勉強会が、11月5日2時より商工会議所会議室で開催され、河内幸枝会長はじめ70名を超える会員の皆様が参加されました。

今回の講演では、我々企業経営者が社員の健康と福祉を守るために、今後如何に対応すべきかについての政府の新しい方針を詳しく伺う事ができました。内容は①労務時間法制の見直しと②雇用形態に関わらない公正な待遇の確保の2つです。①では今まで明確でなかった有給休暇について、年に5日の有給休暇を取得させる義務が経営者側に課せられます。又、社員の労働時間を客観的に把握する事も求められます。残業は、休日出勤を含め月45時間以内とする事、それを超える場合は健康面福祉面に配慮する事が求められ、月60時間超の場合、割増賃金率のアップも視野に入れなければなりません。②では職務内容及び責任の程度が同じであれば、パート、有期雇用、派遣等の雇用形態に関わりなく、公正な待遇を確保されなければならないとの事です。住宅手当、家族手当、役付手当、賞与を除けば、正社員とほぼ同様の待遇を法的には保障されているとの事ですが、どんな雇用形態であれ、採用された雇用者を見て暖かく厳しく育てる事はとても大切です。今日、広範囲な職種があり、働き方も多様化しており、人手不足も加わって、有能な正社員を確保して育てる事が、段々むずかしくなると予想されます。政府のこの働き方改革が、これからの人材の雇用にプラスに作用し、日本経済の活性化につながる事を強く期待してやみません。



(進栄化学株式会社 代表取締役会長 能島 玲子)

新入会員ご紹介

平成31年4月
～令和2年3月



加茂 久子
アトリエ・フール・フェリス
代表



木下 順子
Links プライダール
代表



古田 朋子
デコルテクチュール
代表



金山 順子
柳泉堂
代表取締役



福山 由美
SPO(株)
テール・カーネギー・レーニング西日本
取締役



横山 桂子
株式会社エヌ・ティ・エー・マーケティングアクト
代表取締役社長



井上 歩美
株式会社井上博商店
代表取締役



内田 陽子
パレンシア
代表



寺本 早苗
株式会社リンクス
専務取締役



芳富 恵子
株式会社パルティエ・コーポレーション
代表取締役



大川 和子
Sex&Beauty(株)
代表取締役



奈古 香織
万葉司法書士事務所
代表



柳 有香
共栄印刷(株)
代表取締役



川村 佳子
株式会社カワムラ
取締役



堀内 佑記
株式会社アルメディア・ネットワーク
取締役



藤本 加代子
株式会社(社)福隆生福祉会
理事長

編集後記

この春号は私達広報委員会が発行させて頂く最後の号となりました。今回、新型コロナウイルスによる自粛、その後緊急事態宣言が発令され、女性会も多くの事業が延期、中止となりました。それにより、私達広報委員会でも最後となる委員会も中止せざるを得なかった事を残念に思います。そのような次第で、この春号は中根副会長と私達正副委員長で校正させて頂きました。この2年間一緒に活動して下さった委員の方々、そして快く執筆にご協力頂いた皆様に心より感謝致します。緊急事態宣言も徐々に解除され、また皆様と活動を再開出来ることを嬉しく思います。

広報委員会

NOW



Vol.42 2020年 春号

チューリップ花言葉:「思いやり」

令和初の大商女性会新年互礼会
令和年号にふさわしく前進する女性会

令和2年1月27日 帝国ホテル大阪「孔雀東の間」

令和という年号がやっとなじんできた令和2年1月27日帝国ホテル大阪にて新年互礼会が盛大に華やかに開催されました。

そのリーディングレディである河内幸枝会長の和服姿は美しく、アクティブで明朗な日常とは異なり、多彩な面を持たれる女性の先輩としてのご挨拶は、開会にふさわしく会場に花を添えられました。平成から令和への変化があり、百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録、ラクビーW杯ベスト8と新しい記録が刻まれた年の流れを受けて、たくさんの新入会員やゲストの方々にご参加いただき、今年はさらにいっそう女性会が若返ったように華やかでした。

久保田光恵副会長、中根三恵子副会長より、新入会員3名、ゲスト13名のご紹介があり、皆様今後の女性会への参加に胸躍り、少しほほも紅潮されていたようにお見受けしました。

尾崎裕会頭の乾杯のご挨拶は、男性は情報伝達、女性は連帯感共感、そして絆を共有していく未来をギリシャ神話になぞらえてお話しいただきました。



そして「フードロスを起こさないようにみんなでしっかり食べましょう」とお食事が始まり、女性会ならではのお声がけと感じました。なだ万の美味しいお食事もあり、いよいよ翼和希さんをはじめとするOSK日本歌劇団によるレビューが始まり、歌や踊りが華やかさを頂点に導いてくださいました。

興奮冷めやらぬなか、一層輝きを増した会員の皆様はそれぞれに名刺交換され、楽し気にいろいろなお話に花が咲き、新年互礼会はお開きとなりました。

(株式会社オクムラ 会長 鎌河 悦子)



松下幸之助の生涯と人づくり



大阪府商工会議所女性会連合会研修交流会が、令和元年11月18日(月) ホテル・アゴラ大阪守口にて開催されました。今回は守口門真女性会の紹介により、パナソニックミュージアム見学を兼ねての研修会となり、河内幸枝会長と共に大商から9名、総勢74名が出席されました。

昼食会の後、パナソニックミュージアム館長山田昌子様より「人づくり、人材育成について」というテーマでご講話をいただきました。松下幸之助イズムを含めた、人づくり物づくりの興味深いお話の後、

個人的にはあまり期待感を持たずのミュージアム見学でしたが、ところがどっこい！講話の内容と勝るとも劣らずで、2館あるうちの「ものづくりイズム館」では、懐かしの家電製品と出会い、狂喜乱舞。しばし昔にタイムスリップ。続いての「松下幸之助歴史館」では、大正7年当時の松下幸之助氏の住まいがリアルに再現され、また、「ものをつくる前に人をつくる」という、人づくりの根幹となる考え方が、コメントとともに、年代を追って表示され、日本そして世界の歴史を振り返りながら、経営哲学を学ぶことができました。見学中、山田館長様からも丁寧なご説明をいただき、さらに充実した本当に有意義な時間となりました。近い内に大商女性会の活動の一環として、皆様と一緒できればと願っております。



(北港運輸株式会社 代表取締役 古谷 裕子)

京都生まれながら大阪の観光を世界一に

今年新型コロナウイルスの影響からか例年より参加者が少ないようでしたが、河内幸枝会長の明るくお元気な開会のご挨拶から総会が始まり、その後、議案の審議に移り、全ての議事が満場一致で決議され、総会は無事終了しました。昼食後「2025大阪・関西万博に向けた大阪の観光戦略～世界最高水準の国際観光文化都市を目指して～」というテーマで講演会が始まりました。講師は大阪観光局理事長 溝畑宏氏。冒頭105歳で亡くなられたお祖母様が、亡くなる前日まで明日は何をしようかと言うほどいつも前向きで、好奇心のかたまりのような元気な方だったというお話から始まりました。「人生は楽しむもの。夢は大きく全力で頑張り、人から感謝される人に。人の能力は限界があるが、努力はすればするほど報われる。努力、情熱は必ず人が注目するし、どんな職業でも一生懸命すれば人から感謝され、みんなを元気にする。一人では何もできないが人を巻き込んですればなんでもできる。人を巻き込むには人に愛される人でなければならないが、それにはコミュニケーション能力が必要になる。」と続けられました。



「一番元気で活気のある大阪、百舌鳥・古市古墳群のように美しい自然を残すことも出来、安全で正確な交通機関もある。又美味しくて安い食文化もある。思いやり・人情もある。今大阪には夕方以降の飲食娯楽が少ない。観光客の呼び込みにはそれが必要。」とおっしゃいます。



「大阪も2025年万博に向け、ホップ・ステップ・ジャンプ、みんなが夢を持って大阪を世界一にするため頑張る行こう。『24時間観光都市』『関西・西日本観光におけるハブ』『多様性あふれる街』を目指し頑張る行こう。」と京都生まれの溝畑さんが、大阪を世界一にするために、予定時間を超過して迄とても熱く語られました。その熱弁に引き込まれました。

(大和熔材株式会社 監査役 名倉 百合子)

『給食業界の変遷 - 次世代型食堂へ』

～淀川のように愛され、必要とされる会社～



淀川食品株式会社
取締役副社長
田村 節子 様

日々の生活の中で、『食』は人間にとって切っても切り離せない。私たちの身体は、食べたもので作られている。口にするものは、とても大切。食事は人を幸せにしてくれる。先代が食品小売業から給食事業を始動されて50年余り、近隣の町工場の給食から始まり、自衛隊、新幹線事業部、国鉄寮への食事提供、中央郵便局・市役所等官庁関係の取引から万国博覧会への日本食の提供、病院・介護施設、大手企業の社員食堂へと広がっていきました。アプリを使った学生食堂は次世代型新食堂へと、目の付け所が違う、いつも先を見つめ、時代に適応したサービスを幅広く提供しておられます。様々な分野の専門的知識の構築、営業力も半端ないです。

障害者雇用にも取り組んでおられます。『豊かな食文化を創造するサービス産業を目指す』という企業理念を、忠実に実行して来られた結果とはいえ、現状でよいという考え方に危機感を持ち、『サービスの質』『業務遂行の質』『管理業務の質』『生活の質』あらゆる質を高める思考、行動を日々心掛けておられる社長ご自身の『質の高さ』を感じます。

本日、お話をしてくださった取締役副社長の田村節子さまは、包容力が豊かで、懐の深い女性です。栄養士として腕を振るっておられたそうです。『未来は、日々の積み重ねの結果。大きな夢を持つと、その夢に向かって実現するために小さな夢を一つずつ実現していこう。』入社式でお話しされる言葉だそうです。

(株式会社WIN-WIN 代表取締役 山内 祥子)

『「電力会社」から「予防医療」の世界へ』

～夢は健康な関西人を増やすこと～



株式会社関西メディカルネット
代表取締役社長
福本 恵美 様

連日のように新型コロナウイルスの報道がなされ、マスクの品切れ状態の中で、本日は健康をサポートし健康な関西人を増やすことを夢みて活躍される、株式会社関西メディカルネット 代表取締役社長 福本恵美様の発表をお聞きしました。

福本様が大学卒業後入社した電力会社は、当時新卒150名の内、女性は6名でした。入社後はオール電化の販売に営業として関わられました。出産時には、「長いこと休むだろう」と周囲に言われた反発からすぐに復帰し、育休はとらなかったとお話があり、ご参加の皆様もそれぞれご自身の事を思い浮かべ、共感された方も多かったと思います。

仕事に関して心掛けたことは、①チャレンジ精神を持ち、まずやってみること②現場に答えありの信念のもと、現場を大切に「まず現場に行くこと」だそうです。

役職者になってからは①働きやすい環境づくり②人材育成③最後に責任を取る、この3つを大切にしてきました。

その後、電力・ガスの自由化により、入社時には思いもなかった環境になりました。平成15年に関西電力により設立された80%資本の株式会社関西メディカルネットに代表として赴任されました。現在は2人に1人ががんにかかる時代とのことです。ところが大阪は、がん検診率が全国平均より低く、特に女性は全国平均33.6%に対し27.3%と、ほぼ最下位に位置しているそうです。福本さんご自身は、軽い気持ちで受けたPET検診で、思ってもいなかったがんが早期発見され、身をもって検査の重要性を体感されたとのことです。

従業員の定着率を高めることが課題でしたが、これについては看護師さんをバックアップできる体制をつくる事で定着率アップに繋がりました。

また関西メディカルネットは、会員制で運営していますが、もっと多くの人に知って頂くようにすることも課題とおっしゃる福本社長。これについては新聞やメディアを活用することで問い合わせも増えたので、今後も発信の仕方を考え継続していくそうです。また、会員以外にも、気軽にできる検査を開発し、多くの関西人を健康にしたい、そして「やり続ける力」を信じて、これからも積み上げていきたいと力強く話されました。

(協栄産業株式会社 代表取締役社長 津田 美津枝)